

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

- I. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
- II. 中期経営計画2022-2024
(2023年5月修正)の進捗

2023年 11月17日



三井住友建設

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2024年3月期 第2四半期 決算概要

〔2023年11月8日公表〕

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

01. 決算のポイント

事業環境

- 建設投資は公共・民間ともに底堅く推移、下期も同様の流れが続く見通し
- 引き続き、建設資材価格、労務需給および労務単価の動向を注視する必要
- 手持ち工事量の増加により施工体制が逼迫、受注量の抑制も必要な局面

決算概要

- 売上高、利益は連結・個別ともに前年同期比で大きく増加

連結売上高 **2,306**億円(前年同期比+201億円)

連結営業利益 **88**億円(前年同期比 +77億円)

- 受注は採算性と施工体制の確保を最優先としつつ、注力案件を着実に獲得

個別受注高 **1,466**億円(前年同期比△499億円)

下期の 取り組み 課題

- 通期業績の黒字化に向けた**業績改善施策の確実な遂行**
- 労働時間の上限規制適用と、国内大型建築工事の最盛期を控える来期「2024年」に向けた**事業量の適正化と施工体制の足固め**

02. 業績ハイライト(連結・個別)

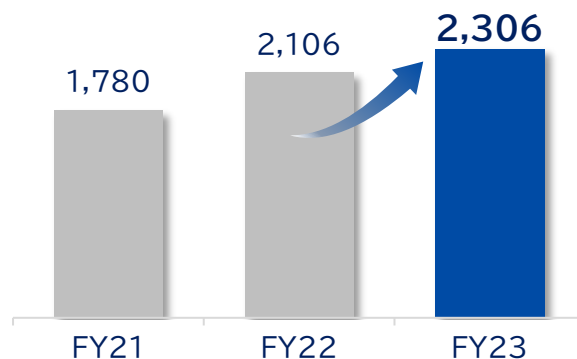
- 売上高:手持ち工事が想定通り進捗し、連結・個別ともに前年同期比増加
- 営業利益:個別、海外子会社の増加を主因に、前年同期比増加

(単位:億円)

	連結					個別				
	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	前年同期比	FY23通期 期首予想	進捗率 (対期首予想)	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	前年同期比	FY23通期 期首予想	進捗率 (対期首予想)
売上高	2,106	2,306	+201	4,630	49.8%	1,585	1,652	+67	3,203	51.6%
売上総利益	143	219	+76	412	53.2%	95	156	+61	260	60.0%
一般管理費	132	131	△1	282	46.5%	85	82	△3	180	45.6%
営業利益	11	88	+77	130	67.7%	10	73	+64	80	91.3%
営業利益率	0.5%	3.8%	+3.3pt	2.8%	—	0.6%	4.4%	+3.8pt	2.5%	—
経常利益	11	84	+73	90	93.3%	20	97	+77	60	161.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2	52	+50	40	130.0%	16	72	+57	35	205.7%

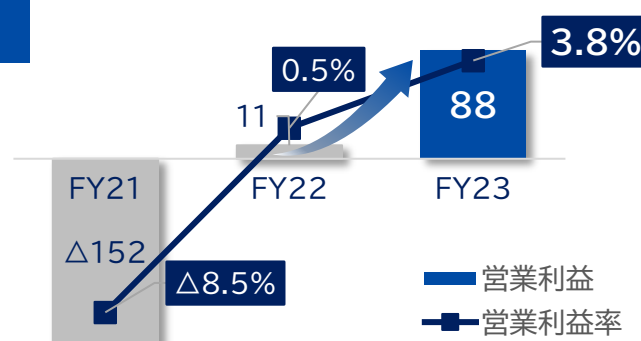
連結売上高

2,306億円
前年同期比
+**201**億円



連結営業利益

88億円
前年同期比
+**77**億円

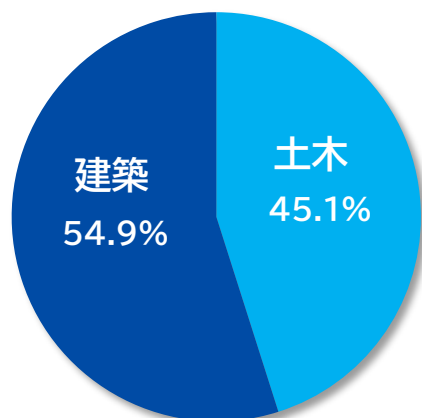


03. セグメント別業績(連結)

- 土木:売上高・利益ともに前年同期比増加、利益率も高水準
- 建築:2期連続の低迷から回復の兆し、利益水準は依然として低水準

連結売上高

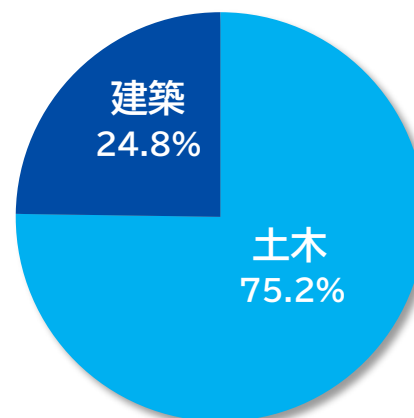
(単位:億円)



	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	前年 同期比
土木	1,027	1,043	+16
建築	1,083	1,270	+187
その他	4	3	△1
調整額	△8	△10	△2
合計	2,106	2,306	+201

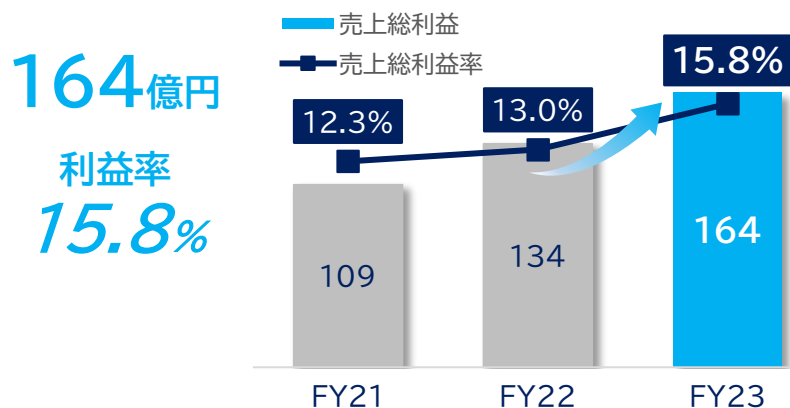
連結売上総利益

(単位:億円)

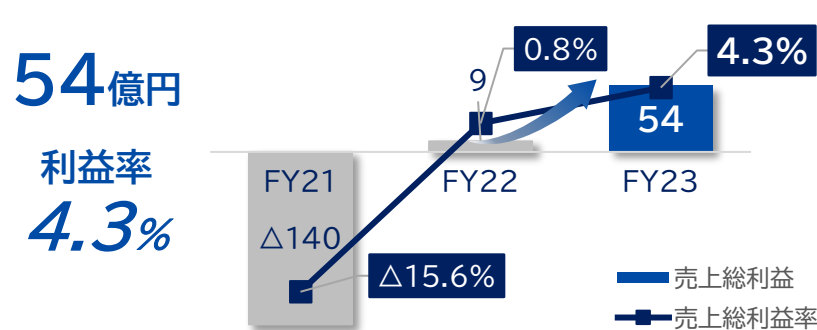


	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	前年 同期比
土木	134	164	+30
建築	9	54	+45
その他	1	1	0
調整額	△1	△1	+0
合計	143	219	+76

土木売上総利益



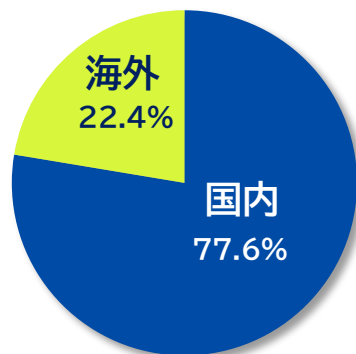
建築売上総利益



04. 国内・海外別業績（連結）

- 海外：工事量の増加により、売上高・利益ともに前年同期比増加
当社の「成長ドライブ」として事業基盤の強化を継続

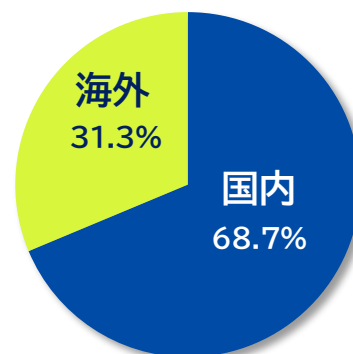
連結売上高



(単位:億円)

2Q実績	国内	海外	(構成比)
FY22	1,665	441	(21%)
FY23	1,790	516	(22%)
前年同期比	+125	+75	(+1.1pt)

連結売上総利益



(単位:億円)

2Q実績	国内	海外	(構成比)
FY22	116	27	(19%)
FY23	151	69	(31%)
前年同期比	+35	+42	(+12.1pt)

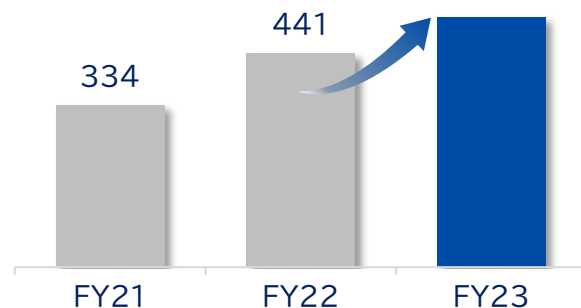
国別売上高

FY23-2Q実績	
フィリピン	136
インド	97
インドネシア	85
タイ	44
その他地域	154
海外合計	516

海外売上高

516億円

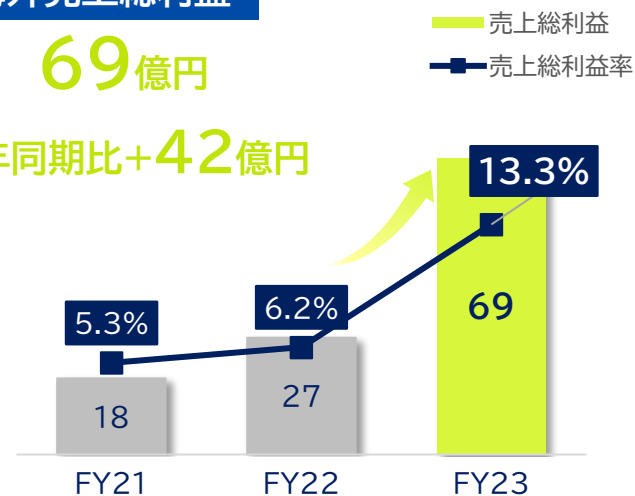
前年同期比+75億円



海外売上総利益

69億円

前年同期比+42億円



05. 建設受注高(個別)

- 土木:国内は前年同期比増加、注力案件を着実に獲得
- 建築:採算性と施工体制を最優先とし、量より質を重視した取り組み

個別受注高

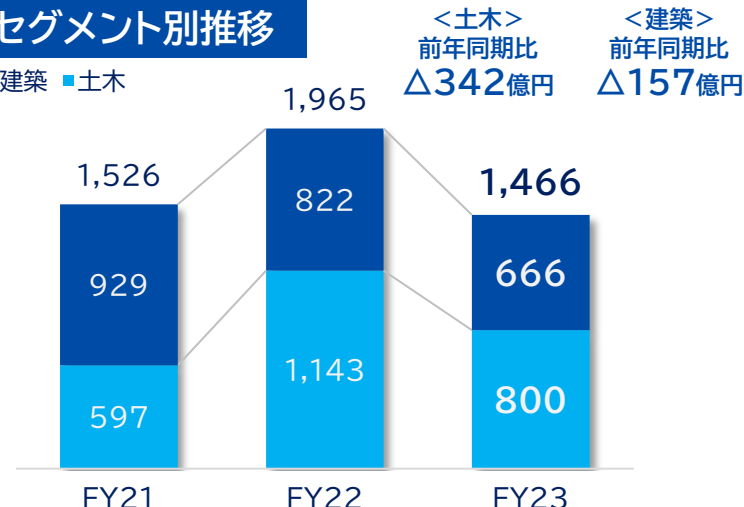
(単位:億円)

	FY21 2Q実績	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	前年同期比
国内官公庁	449	299	495	+195
国内民間	140	91	99	+8
海外	8	753	207	△546
土木工事	597	1,143	800	△342
国内官公庁	246	33	47	+14
国内民間	673	713	531	△182
海外	10	76	87	+11
建築工事	929	822	666	△157
国内官公庁	695	332	542	+210
国内民間	813	804	630	△174
海外	18	829	295	△535
合計	1,526	1,965	1,466	△499

海外(現地法人含む)	(89)	(1,000)	(410)	(△589)
------------	------	---------	--------------	--------

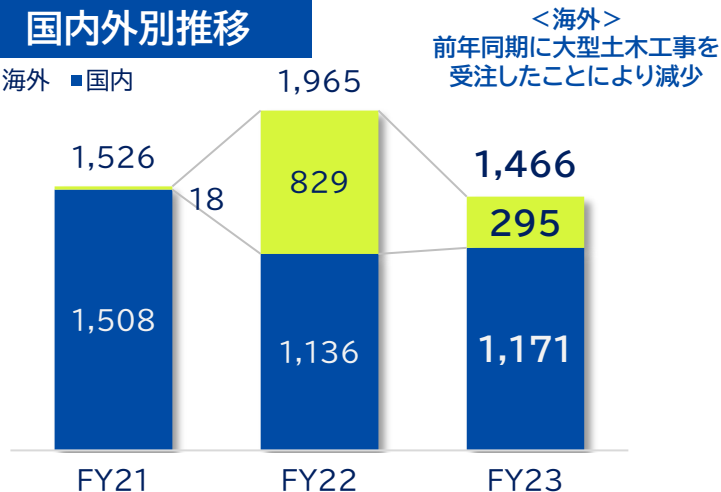
セグメント別推移

■ 建築 ■ 土木



国内外別推移

■ 海外 ■ 国内



06. 完成工事高(個別)

- 完成工事高:土木は概ね前年同期と同水準、建築は前年同期比増加
- 繰越工事高:前期末比で減少、引き続き高水準で推移

完成工事高

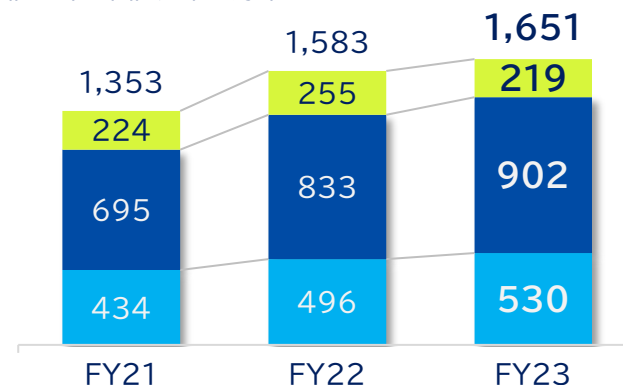
(単位:億円)

	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	前年同期比	FY23通期 期首予想	進捗率 (対期首予想)
土木	715	702	△14	1,400	50.1%
建築	868	949	+81	1,800	52.7%
完成工事高	1,583	1,651	+67	3,200	51.6%

完成工事高推移

前年同期比
+67億円

■国内土木 ■国内建築 ■海外



繰越工事高

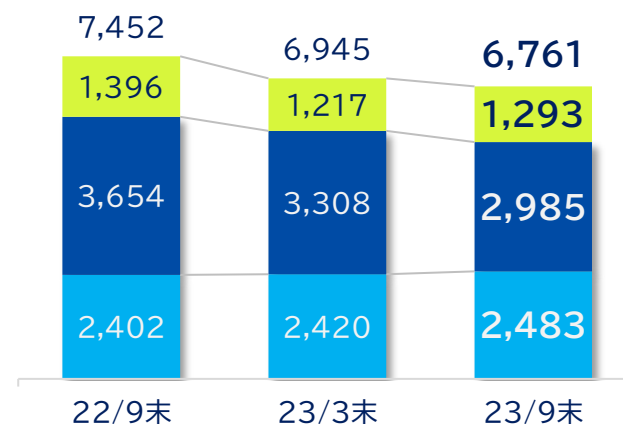
(単位:億円)

	22/9末 実績	23/3末 実績	23/9末 実績	前期末比	増減率 (前期末比)
土木	3,631	3,465	3,564	+99	+2.9%
建築	3,821	3,480	3,197	△283	△8.1%
繰越工事高	7,452	6,945	6,761	△184	△2.6%

繰越工事高推移

前期末比
△184億円

■国内土木 ■国内建築 ■海外



07. 完成工事総利益(個別)

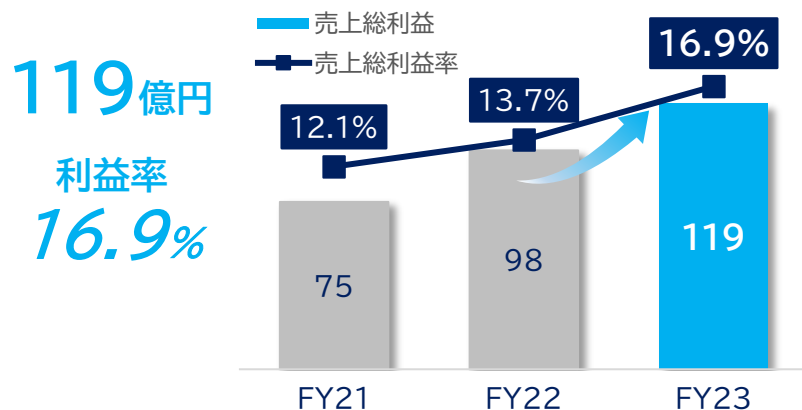
- 土木:設計変更獲得や利益改善により前年同期比増加
- 建築:手持ちの低採算工事が残存し、厳しい状況。利益水準は回復途上

完成工事総利益

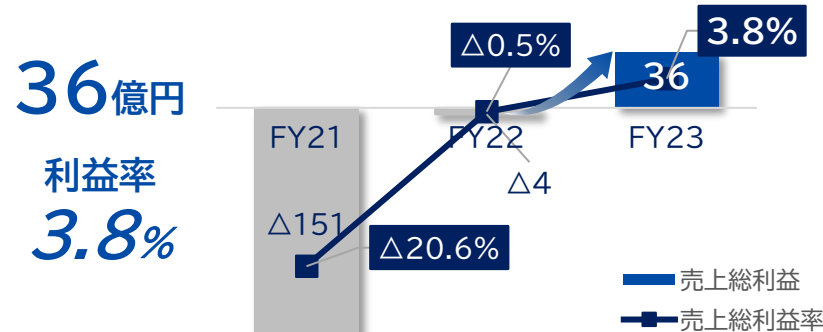
(単位:億円)

	FY22 2Q実績		FY23 2Q実績		前年同期比	増減率 (前年同期比)	FY23通期 期首予想		進捗率 (対期首予想)
土木	98	13.7%	119	16.9%	+21	+3.2pt	174	12.4%	68.4%
建築	△4	△0.5%	36	3.8%	+40	+4.3pt	85	4.7%	42.4%
完成工事総利益	94	5.9%	155	9.4%	+61	+3.5pt	259	8.1%	59.8%

土木売上総利益



建築売上総利益



08. 連結財政状態・キャッシュフロー

- 連結自己資本比率: 当期純利益の積み上げにより前期末比で改善
- 営業キャッシュフロー: 資金収支改善に努め、前年同期比で改善

連結財政状態・キャッシュフロー

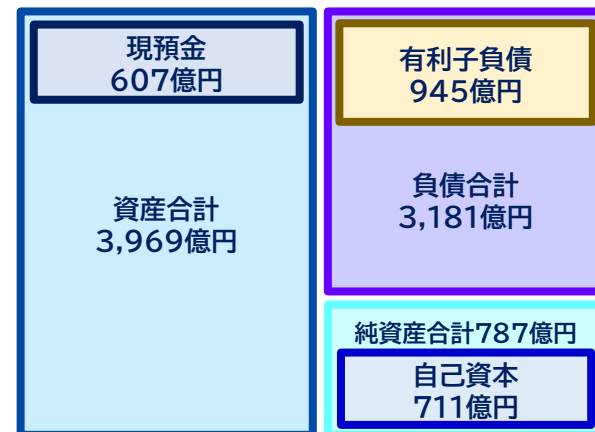
(単位: 億円)

	22/9末 実績	23/3末 実績	23/9末 実績	前期末比
資産合計	4,240	4,102	3,969	△ 133
(現預金)	(627)	(651)	(607)	(△45)
負債合計	3,253	3,390	3,181	△ 209
(有利子負債)	(1,094)	(843)	(945)	(+103)
純資産合計	987	711	787	+76
(自己資本)	(915)	(636)	(711)	(+75)

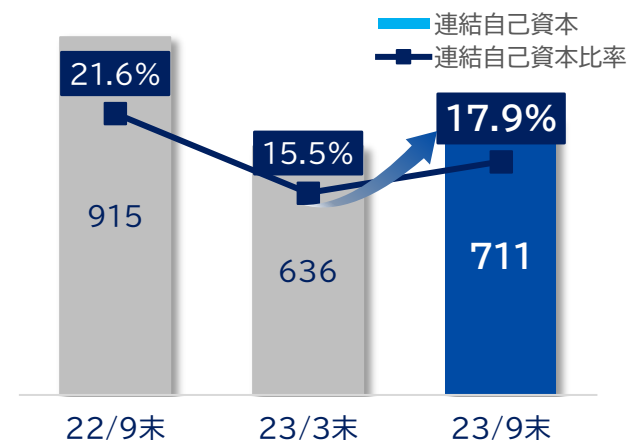
自己資本比率	21.6%	15.5%	17.9%	+2.4pt
--------	-------	-------	-------	--------

	FY22 2Q実績	FY22 通期実績	FY23 2Q実績
営業CF	△487	△161	△227
投資CF	△32	△35	99
財務CF	402	142	75
期末現金同等物	550	608	571

連結貸借対照表概略図



連結自己資本



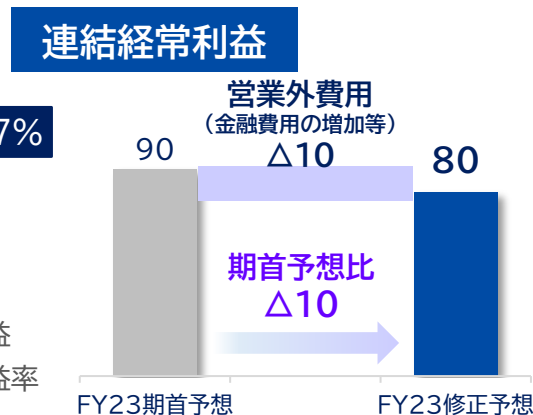
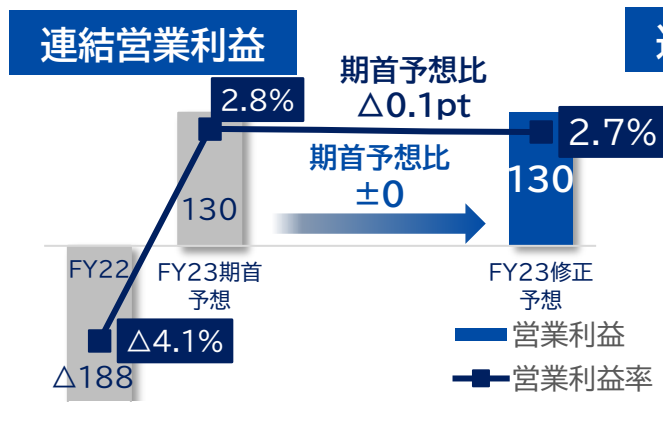
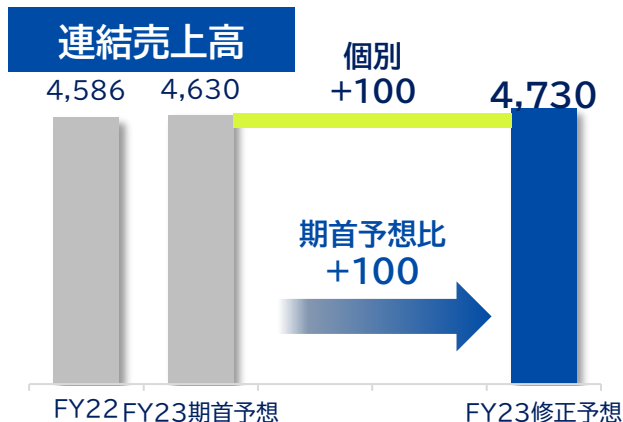
09. 通期業績予想(連結・個別)

■ 第2四半期決算実績を踏まえ通期業績予想を修正

- ・売上高: 個別の増加により、期首予想を上回る見通し
- ・利益: 金融費用が増加する一方、特別損失の減少により当期純利益は期首予想を維持

(単位: 億円)

	連結					個別				
	FY22 実績	FY23 期首予想	FY23 修正予想	期首予想比	前期比	FY22 実績	FY23 期首予想	FY23 修正予想	期首予想比	前期比
売上高	4,586	4,630	4,730	+100	+144	3,376	3,203	3,303	+100	△73
売上総利益	91	412	412	0	+321	△48	260	260	0	+308
一般管理費	278	282	282	0	+4	182	180	180	0	△2
営業利益	△188	130	130	0	+318	△231	80	80	0	+311
営業利益率	△4.1%	2.8%	2.7%	△0.1pt	+6.8pt	△6.8%	2.5%	2.4%	△0.1pt	+9.2pt
経常利益	△185	90	80	△10	+265	△214	60	60	0	+274
親会社株主に帰属する 当期純利益	△257	40	40	0	+297	△256	35	45	+10	+301

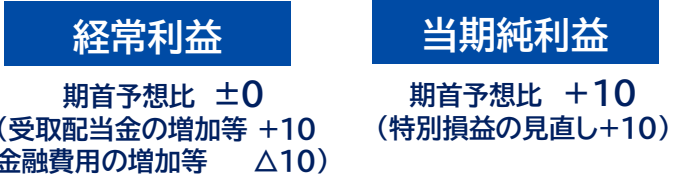
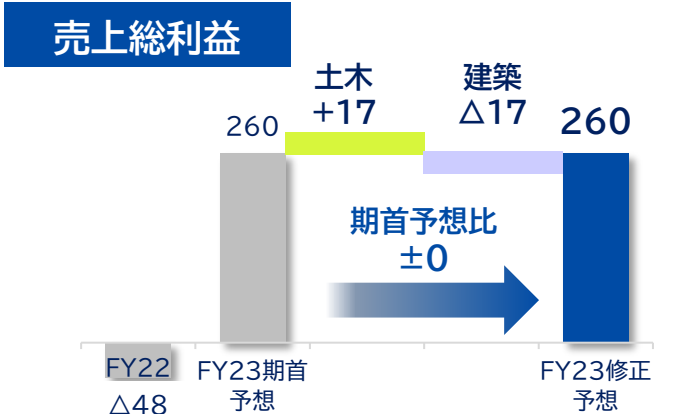
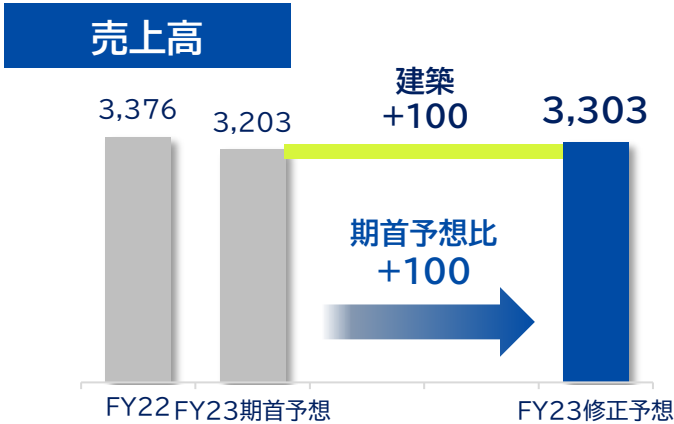


10. 通期業績予想(個別 詳細)

- 売上高:建築の手持ち工事の進捗により、期首予想を上回る見通し
- 利益:直近の動向を踏まえ、土木、建築の総利益予想を見直し

(単位:億円)

	FY22 実績	FY23 期首予想	FY23 修正予想	期首予想比	前期比
土木	1,480	1,400	1,400	0	△80
建築	1,893	1,800	1,900	+100	+7
その他	3	3	3	0	0
売上高	3,376	3,203	3,303	+100	△73
土木	184	174	191	+17	+7
	12.5%	12.4%	13.7%	+1.3pt	+1.2pt
建築	△234	85	68	△17	+302
	△12.3%	4.7%	3.6%	△1.1pt	+15.9pt
その他	1	1	1	0	0
売上総利益	△48	260	260	0	+308
売上総利益率	△1.4%	8.1%	7.9%	△0.2pt	+9.3pt
一般管理費	182	180	180	0	△2
営業利益	△231	80	80	0	+311
営業利益率	△6.8%	2.5%	2.4%	△0.1pt	+9.2pt
経常利益	△214	60	60	0	+274
当期純利益	△256	35	45	+10	+301



11. 建設受注高(個別)予想

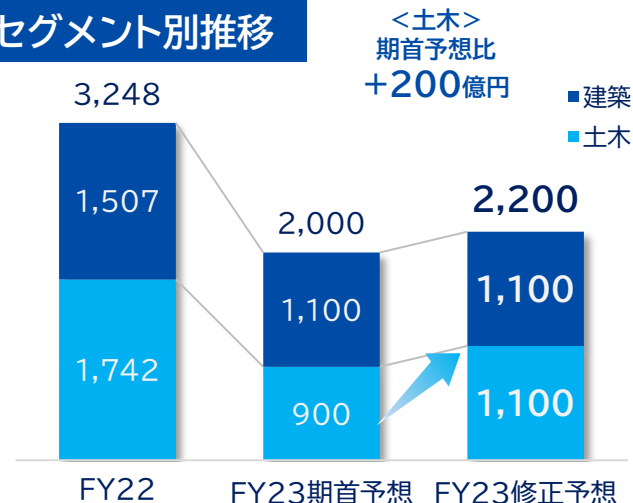
- 直近の受注状況を踏まえ、土木の通期見通しを上方修正
- 採算性と施工体制を重視した受注方針を堅持し、良質な案件の獲得に注力

個別受注高

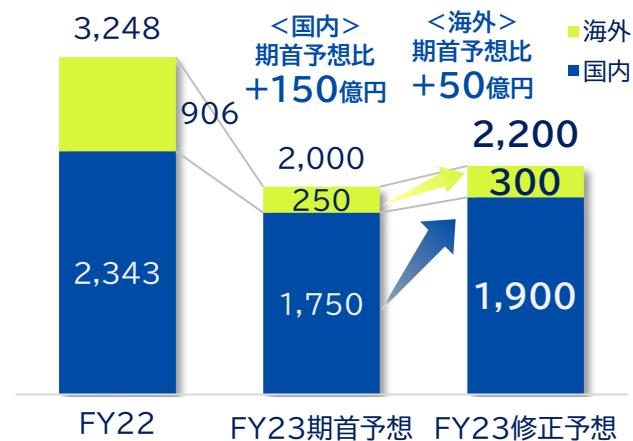
(単位: 億円)

	FY22 実績	FY22 期首予想	FY23 修正予想	期首予想比	前期比
国内	952	700	850	+150	△102
海外	789	200	250	+50	△539
土木工事	1,742	900	1,100	+200	△642
国内	1,390	1,050	1,050	0	△340
海外	117	50	50	0	△67
建築工事	1,507	1,100	1,100	0	△407
国内	2,343	1,750	1,900	+150	△443
海外	906	250	300	+50	△606
合計	3,248	2,000	2,200	+200	△1,048

セグメント別推移



国内外別推移



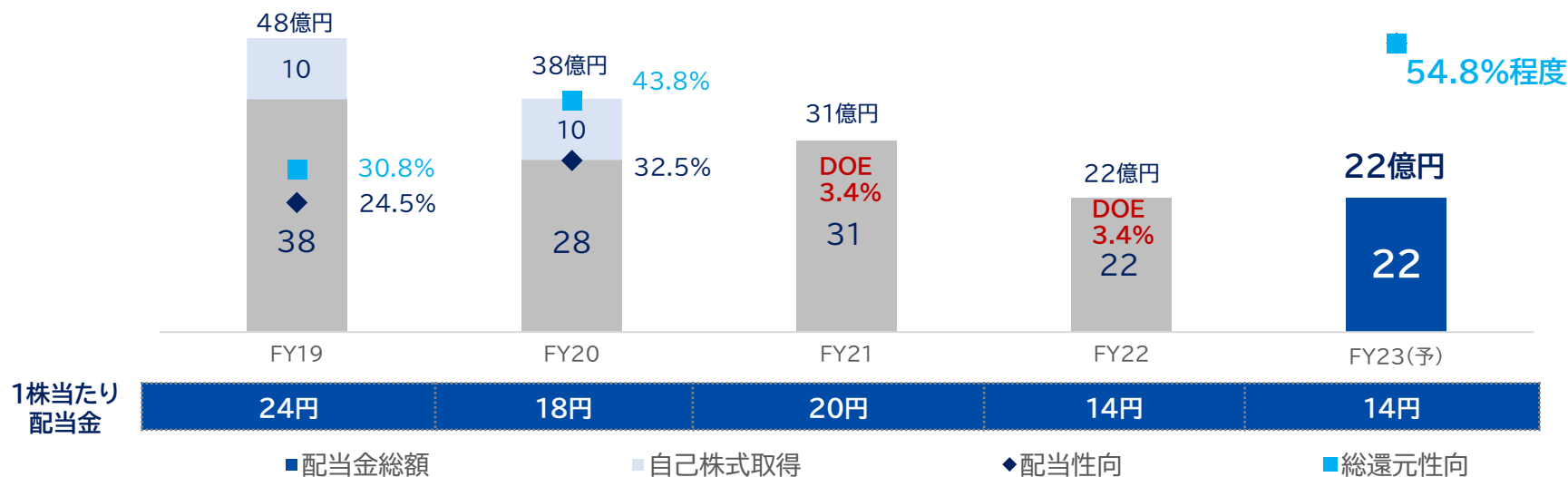
12. 2024年3月期 株主還元(予想)

- 総還元性向50%を目安に、自己資本配当率(DOE)3%を下限値として安定した株主還元を実施
- 株主還元:1株当たり配当金は期首予想通り14.0円を予定

	年間配当金(円)			配当性向 (連結)	自己資本 配当率(連結)	総還元性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
FY21	0.00	20.00	20.00	-	3.4%	-
FY22	0.00	14.00	14.00	-	3.4%	-
FY23(予想)	0.00	14.00	14.00	54.8%	3.3%	54.8%

配当性向・総還元性向の推移

(単位:億円)



2024年3月期 第2四半期 決算説明会

Ⅱ.中期経営計画2022-2024 (2023年5月修正)の進捗

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の進捗

中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の概要

計画修正の背景

主要因 国内大型建築工事における多額の損失計上 / 建築事業全般の業績悪化

業績改善施策の追加策定、それらを反映させた経営数値目標の見直しを実施

企業価値向上に向けた重要課題

収益力の向上 事業領域ごとの方針に基づいた取り組みを実施

- ✓ 国内土木事業 ▶ **【更なる質の向上】** 優位技術を軸に利益生産性の向上を目指す
- ✓ 国内建築事業 ▶ **【構造改革】** 利益率の改善を最優先とした業務・組織改革を実行
- ✓ 海外事業 ▶ **【事業拡大】** 人材等の事業基盤の強化と共に、事業拡大を目指す
- ✓ 成長投資 ▶ **【選択と集中】** 再生可能エネ事業などのサステナビリティ関連に注力

資本効率の向上 資産のスリム化、資本構成の最適化を図り、資本コストを意識した資産効率化を推進

コーポレート・ガバナンスの強化 今般の多額損失計上の再発防止も見据えたガバナンスの強化

中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の進捗

経営数値計画の進捗状況

業績計画(連結業績目標)

(億円)

	中期経営計画 2022-2024						
	2022	2023 2Q	2023	2024	2025	2026	2027
連結売上高	4,586	2,306	4,630	4,670	4,360	4,400	4,500
連結営業利益	△188	88	130	160	167	183	200
利益率	△4.1%	3.8%	2.8%	3.4%	3.8%	4.2%	4.4%

➡第2四半期においては概ね計画通りの進捗

➡長期計数(特に売上高)については施工体制を考慮しつつ、今後の動向を慎重に見極め

受注高・繰越高(個別)

(億円)

	2022	2023 2Q	
国内土木 受注高	952	593	
国内建築 受注高	1,390	578	
	2023/3末	2023/9末	(増減)
国内土木 繰越高	2,420	2,483	+63
国内建築 繰越高	3,308	2,985	△323

事業規模の最適化により強固な経営基盤を再構築

国内土木➡施工体制を勘案しつつ、事業規模を維持

国内建築➡手持工事の消化を最優先とし、受注量の抑制により手持工事量を適正化

中期経営計画 2022-2024 <2023年5月修正>の進捗

経営数値計画の進捗状況

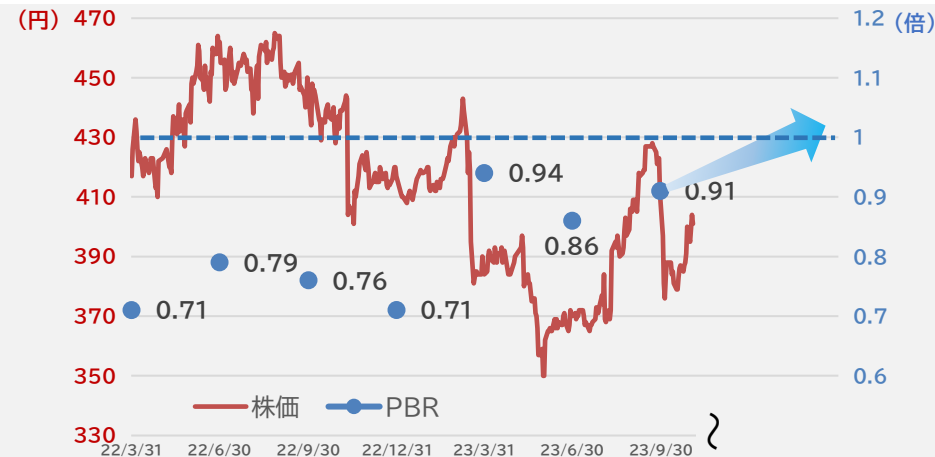
財務計画(キャッシュフロー)

	2022 2Q	2023 2Q	2023-2027 (5年合計)
営業CF	△487	△227	1,200程度
投資CF	△32	99	△250程度
財務CF	402	75	△760程度
有利子負債 残高	1,094	945	270程度

CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)の短縮による資金収支の改善

- ➡引き続き資金立替基調が継続するも、営業CFは改善・有利子負債も減少(前年同期比)
- ➡資金収支を意識した取組を徹底しつつ手持工事の早期資金回収に注力

株価とPBRの推移



「収益力の向上」と「資本効率向上」は優先すべき経営課題

- ➡株価はPBR1倍を割れる状況が継続している
- ➡ROEの向上を図り、PBRの改善に取り組み、企業価値の向上を目指す

ROE
水準
目標

中期経営計画
2022-2024

2024年度
ROE
9%以上

中期経営計画
2022-2024
+3年

2027年度
ROE
10%以上

長期目標
(イメージ)

2030年度
ROE
12%以上

国内大型建築工事への対応

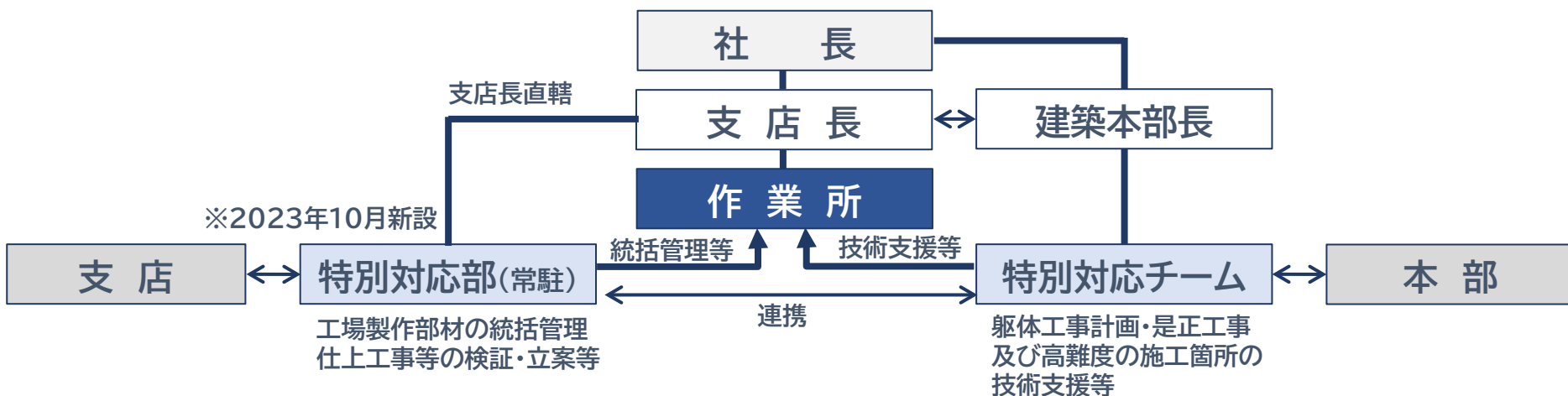
✓ 国内大型建築工事の現状

✓ 施工状況

- ・4月21日公表の工場製作部材の製品不具合に伴う是正工事は完了済み
- ・現在は高層棟躯体を施工中

✓ 施工体制の強化

- ・特別対応チームの支援・指導により部材製造の品質及び工程管理を徹底
- ・今後の躯体サイクル工事の円滑な施工、躯体工事以降の対応(仕上工事等)に向け、当該工事対応の特別対応部を新設 ➡ 更なる施工推進体制を構築



国内大型建築工事に関する「調査報告書の概要」の開示

1. 「調査報告書の概要」について

- ✓ 当社が現在施工中の国内大型建築工事において、「工法変更問題」及び「製品不具合問題」の発生原因について、郷原総合コンプライアンス法律事務所の代表弁護士である郷原信郎弁護士や外部有識者に助言、検証いただきながら、調査委員会にて調査、分析した結果及び再発防止策の概要等を開示

2. 調査委員会の概要

委員会の構成	委員長(当社元常勤監査役) ※委員長管下に調査を総括する事務局を置き、本工事に直接関与していない 管理本部が中心となって調査を実施	
外部有識者	技術的側面	日本大学理工学部海洋建築工学科 福井 剛 教授 芝浦工業大学建築学部建築学科 志手 一哉 教授 ※調査方法、調査プロセス、調査結果等について検証
	ガバナンス、 内部統制面	森・濱田松本法律事務所 藤原 総一郎 弁護士 ※調査方法、調査プロセス、調査結果等について検証
	トータル アドバイザー	郷原総合コンプライアンス法律事務所 郷原 信郎 弁護士 ※調査方法、調査プロセス、調査結果等について助言、調査報告の評価

国内大型建築工事に関する「調査報告書の概要」の開示

3. 「調査報告書の概要」の開示項目

✓ 調査委員会の調査の概要

- ・ 委員会の構成、外部有識者、調査目的、調査方法

✓ 調査結果の概要

- ・ 工事の受注検討体制、損失発生 of 主要な要因、工法変更問題の原因、製品不具合問題の原因

✓ 再発防止策の概要

- ・ 既に実施済(決定済)の再発防止策、可及的速やかに実施すべき再発防止策

✓ 経営責任

- ・ 契約当時の経営トップの経営責任、損失計上にかかる経営責任

✓ 補 足

- ・ トータルアドバイザー 郷原弁護士の評価結果

国内大型建築工事に関する「調査報告書の概要」の開示

4. 再発防止策の概要

既に実施済（決定済）の再発防止策

- ✓ 受注プロセスにおける審査の充実化
- ✓ 大規模工事における継続的なモニタリングの徹底
- ✓ 外部専門家による不具合検証と再発防止策の提案・実施
- ✓ 図面管理に関する対策
- ✓ 体制の増強

可及的速やかに実施すべき再発防止策

- ✓ リスク情報の早期共有
- ✓ 規則に基づく管理・運営の徹底
- ✓ 品質確保の重要性に関する教育実施
- ✓ 業務担当者のフォロー体制の構築等
- ✓ 受注プロセスにおけるリスク対応の徹底
- ✓ 体制、工程の事前検討の徹底
- ✓ 他社設計案件(急速施工工法)の取扱い
- ✓ 工場間における不具合情報共有の徹底

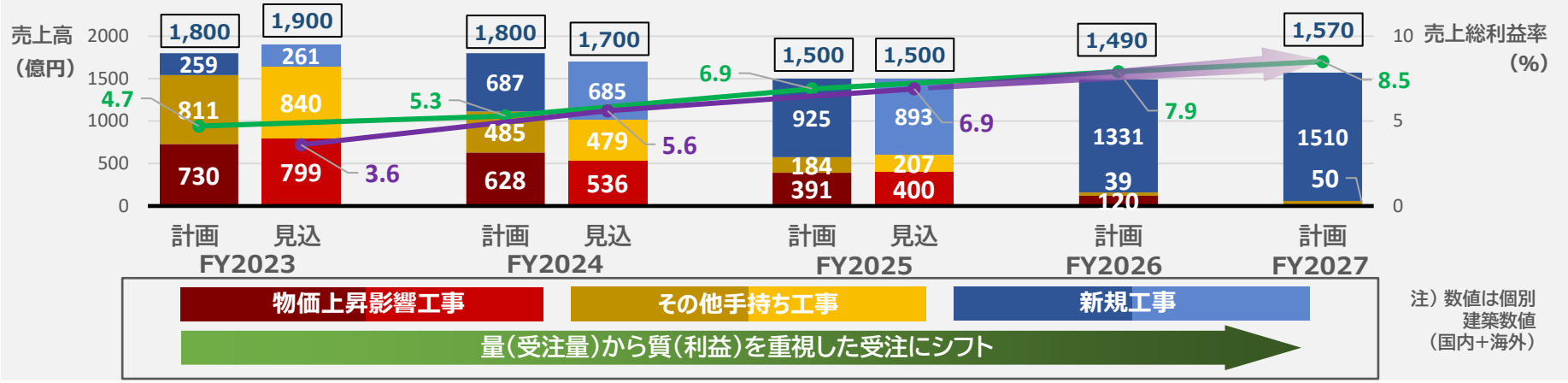
収益力の向上 ～国内建築事業「構造改革」～

国内建築事業の業績改善

利益率改善に向けた施策実施状況

利益を重視した受注計画の徹底（手持ち工事の良質な案件への入れ替え）

・物価上昇影響工事をはじめ、一部計画より前倒しで手持ち工事を着実に消化



本部取組判定会の実施（受注審査の厳格な運用実施）

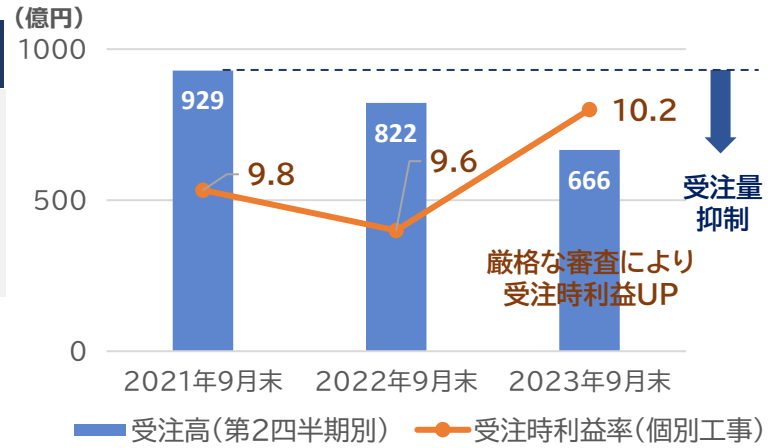
- ・審査過程において「建築工事審査担当役員(建築部門外)」による厳格な審査を実施
- ・主要案件については支店取組可否判断に加え、最終的に本部で取組承認

損益悪化リスク回避

受注量抑制

受注時利益率の向上

施工体制逼迫解消に注力



収益力の向上 ～国内建築事業「構造改革」～

国内建築事業の業務効率化に向けた取り組み

✓ 労働時間の上限規制への取り組み

- ・現場の「周辺業務」を本支店へ移管、アウトソーシング
 - ・専門部署(統括室)による支援体制強化
 - ・受注量の抑制
- ➔ 現場業務削減、効率化を進め、コア業務(安全・品質・工程・原価管理)に集中できる体制を構築

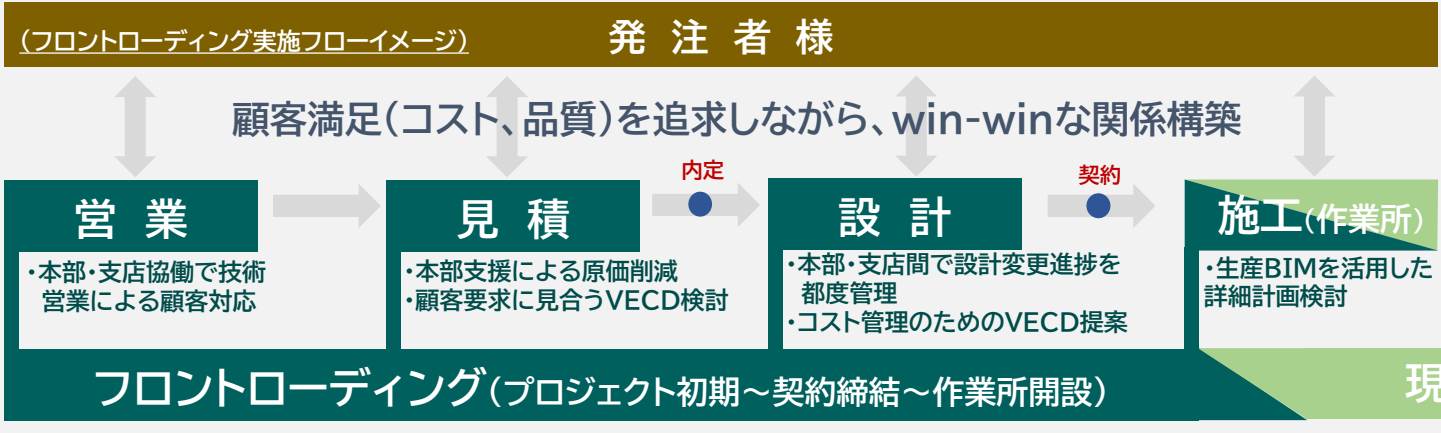
現場業務の削減/効率化

現場業務の効率化と良質な案件獲得

良質な案件の作り込み
損益悪化リスクの排除

✓ フロントローディング実施案件の取り組み

- ・建築本部主管部署が、案件初期段階からプロジェクトに関与(営業-見積調達-設計-施工)
 - ・生産BIM等を活用し、高精度な施工計画を事前検討
- ➔ 顧客満足の実現、より良質な案件の作り込み
- ➔ 着工後の損益悪化リスクの排除



収益力の向上 ～国内土木事業「更なる質の向上」～

優位技術を軸に、利益を意識した戦略と技術力強化で全体の業績を牽引

✓利益・完工生産性を意識した質の高い案件への取り組み

2023年度主要受注案件

✓大規模更新事業と国土強靱化に注力した案件の受注

- ・中国自動車道(特定更新等)戸河内橋他2橋
床版取替工事
- ・九州自動車道(特定更新等)矢部川橋床版取替工事
- ・俵山・豊田道路第2トンネル工事
- ・川崎港臨港道路アプローチ部橋梁下部工事
- ・中川右岸柿木取水樋管改築工事

大規模更新事業と国土強靱化への取り組み

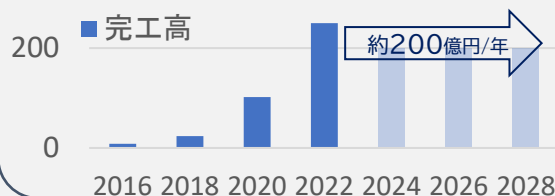
継続的な取り組みによる
更なる質の向上を目指す

床版取替工事
累計完工高

約**700**億円
(2015年度～2022年度累計)

床版取替工事
今後完工高(予定)

約**200**億円/年



案件名:東北自動車道 仲田橋床版取替工事
概要 :鋼橋の床版取替工4橋
(A=2,240m²)



案件名:馬込川 地震・高潮対策工事(水門本体工)
概要 :水門工1式
施工幅 W=90.0m(30m×3径間)

収益力の向上 ～国内土木事業「更なる質の向上」～

優位技術を軸に、利益を意識した戦略と技術力強化で全体の業績を牽引

✓ 建設業の課題である生産性の向上に資する技術の現場適用

橋梁技術

柱頭部の超急速施工法を実装(二つの工法を組み合わせ実現)



柱頭部SPER工法 特徴

- ・横桁部の型枠作業低減
- ・大型ブラケットが不要
- ・安全性も向上

ガーダー式コンパクトワグン

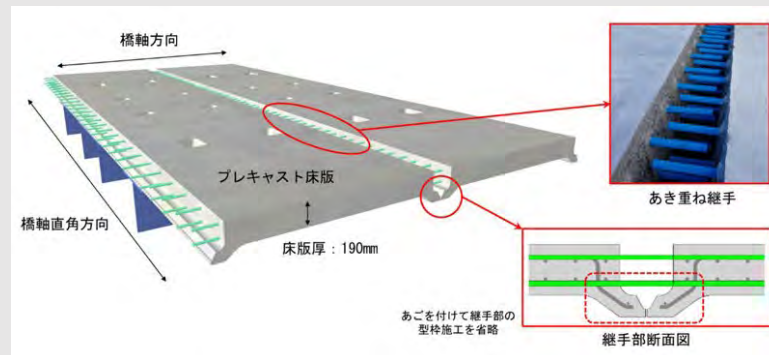
- ・組立に必要なスペース低減
- ・柱頭部の分割施工が可能
(横桁部と張出部)

施工日数を50%短縮※
省力化と生産性の向上を実現

※従来の大型ブラケット支保工を用いた場所打ちコンクリートによる柱頭部の施工と比較

床版取替技術

プレキャスト床版の接合工法「サスティンジョイント」



特徴

- ・橋軸直角方向の鉄筋が不要かつ間詰めコンクリート打設量削減
- ・超高強度繊維補強サスティンクリート※で高品質な継手を実現
- ・超高強度サスティンクリートによりCO2排出量を従来の超高強度コンクリートの6割程度に低減

生産性向上・高品質・環境負荷低減を実現

※材料に由来するCO2排出量を40%～最大90%削減する環境配慮型コンクリート

担い手不足・労働時間規制の課題に対し生産性の向上を図る技術開発

当社の成長ドライブとして事業拡大

✓ 海外土木事業

- 大型鉄道案件への継続取組み（ベトナム・バングラデシュ・フィリピン・インドネシア）
 - ➡ 実績とノウハウの蓄積
 - ➡ 今後も大型鉄道案件の受注へ向けて注力



トンネル工区開削状況



駅舎上空 開削後状況



地下鉄駅舎内

- ・案件名: ホーチミン都市鉄道建設工事 CP1a
- ・発注者: ホーチミン市 都市鉄道管理局
- ・所在地: ベトナム ホーチミン市
- ・概要: 工事延長 750m
(駅舎部240m、トンネル区間510m)



- ・案件名: フィリピン南北通勤鉄道事業CP02
- ・発注者: フィリピン運輸省
- ・所在地: フィリピン ブラカン州
- ・概要: 高架橋延長 14,008m 駅舎工 3駅舎

当社の成長ドライブとして事業拡大

✓ 海外建築事業

- インドは日系ゼネコンでトップシェアを永年維持している最重要拠点
- 今期以降も大型案件(スズキ社工場案件など)を継続受注の予定
 - ➡ 次なる一歩として、非日系企業案件や工場以外の案件獲得に注力
 - ➡ 多様な顧客とニーズに対応することで着実な事業拡大を目指す



- ・案件名: Design & Construction of New Factory at Sri City
- ・施 主: THK India Private Limited
- ・所在地: インド共和国アンドラプラデシュ州
- ・概 要: LMガイド生産工場



- ・案件名: Greenfield Chemical Manufacturing Facility at Saykha
- ・施 主: Nissan Bharat Rasayan Limited
(日産化学㈱とBharat Rasayan Ltd.の合併会社)
- ・所在地: インド共和国グジャラート州
- ・概 要: 農薬製品生産工場

収益力の向上 ～海外事業「事業拡大」～

当社の成長ドライブとして事業拡大

D&I

グローバル人材基盤の構築

✓ 海外名門大学から外国籍総合職採用を継続的に実施



ヤンゴン工科大学/ミャンマー 合計8名 (2022年度より)

ミャンマー国内で最大かつ最も歴史ある国立工科大学
毎年優秀なエンジニアを数多く輩出 工学系大学の中では国内トップレベル



バンガラデシュ工科大学/バンガラデシュ 合計8名 (2024年度入社予定)

建築・工学研究のために創設されたバンガラデシュで最も古い国立大学
工学系大学の中では国内トップレベル

➡ 今後も海外名門大学からグローバル化を牽引する人材採用を継続

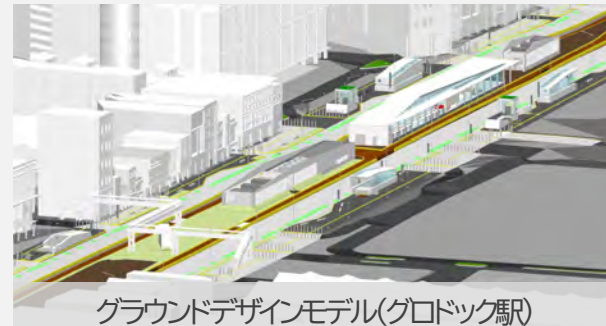
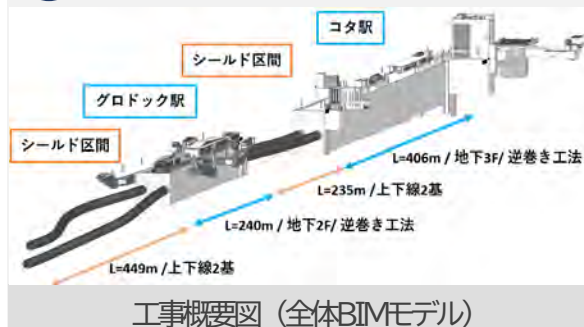


2023/10 内定者の集合写真
(バンガラデシュ工科大学)

DX

BIM技術の適用拡大 (インドネシア ジャカルタ都市高速鉄道適用中)

✓ BIM活用による業務効率化



収益力の向上 ～成長投資「選択と集中」～

サステナビリティ関連事業の強化

✓ 再生可能エネルギー事業の拡大

PPA市場の活性化を追い風に水上太陽光発電事業拡大を加速

オフサイトPPA



大阪府 泉佐野市(2.8 MW)
2023年6月より事業開始

オフサイトPPA



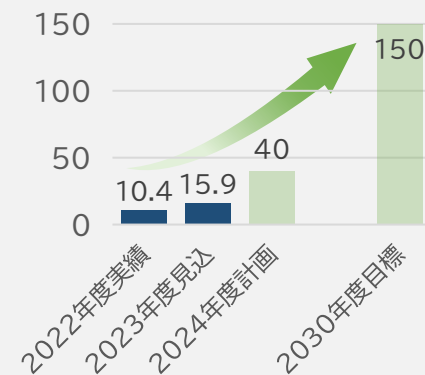
大阪府 泉佐野市(1.9MW)
2024年1月より事業開始予定

オンサイトPPA



熊本県 某工場(0.8MW)
2024年1月より事業開始予定

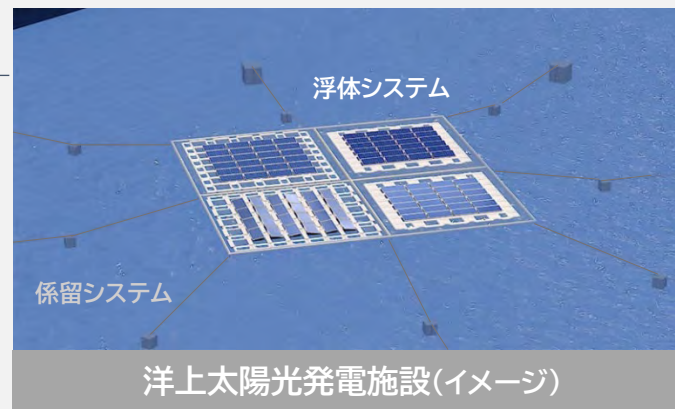
再生可能エネルギー発電事業規模(MW)



水上太陽光発電の適用範囲の拡大

✓ 大深度/強風/ 洋上向け新型浮体・係留システムの開発

- ・「東京ベイeSGプロジェクト」に採択され、2023年12月より実証開始予定
- ・洋上への展開に加え、積雪/凍結対策、蒸発防止機能の付加による適用範囲拡大を展望



企業価値の向上へ向けたコーポレートガバナンスの強化

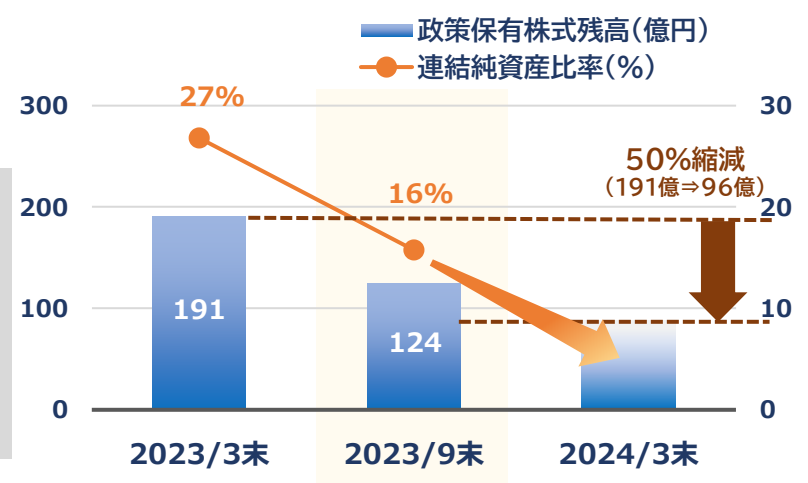
✓ コーポレートガバナンスの強化

✓ 政策保有株式の縮減状況

中計目標：2024年度までに50%まで縮減
※2022年度比

進捗状況（2023年9月末時点）

- 政策保有株式残高 124億円（35%削減）
- 連結純資産比率 16%（20%以内達成）
- 資本効率向上に向けて売却を継続し、当初目標を1年前倒しで達成見込み



✓ 取締役会監督機能の強化

中計目標：過半数の社外取締役の選任（監督と執行、および取締役間の相互牽制機能強化）

現 状	社内取締役	社外取締役	社外取締役比率
	4名	5名	55%

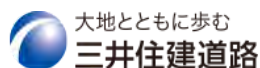
➡ 社外取締役を過半数選任

「企業経営」「営業・マーケティング」「技術・IT」「財務・会計」「リスクマネジメント・コンプライアンス」「グローバル」「サステナビリティ」「D&I推進・人材開発」等のスキル

➡ 事業運営上必要なスキルを社外取締役で網羅



三井住友建設



大地とともに歩む
三井住建道路



三井住友建設グループ
SMCシビルテクノス株式会社



三井住友建設グループ
株式会社 S M C R



SMCテック株式会社
三井住友建設グループ



SMC商事株式会社



SMCプレコンクリート 株式会社



SMCコスモソリューションズ株式会社



Aseismic Devices Co., Ltd.



三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社



ドーピー建設工業株式会社



株式会社西和工務店

お問い合わせ先

経営企画本部 企画部

Tel. 03-4582-3016 Fax. 03-4582-3205

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。